

大人のための情報モラル通信

参考にしたいスマホルールについて

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

スマートフォンやタブレット端末はとても便利で楽しく、今や大人も子どもも多くの方がその魅力に取りつかれています。

「アプリ」のインストールや「時間」を管理するだけでも、子どもがトラブルに巻き込まれる確率は大きく減りますが、もう少し踏み込んで、**子どもと一緒に**使い方に関するルールを考えてみましょう。

「スマホ18の約束」の検索結果ページ



イラストのようにスマホのカメラで読み込んでアクセスして下さい。または「スマホ18の約束」という言葉で検索してください。

スマホだいすき



今回参考にするのは「**スマホ18の約束**」です。これは、外国のあるご家庭で、保護者が13歳の子どもにスマホを渡した際、親子で交わした約束です。

「このスマホは私(母)のものであり、あなた(子)に貸している」を始め、「人に面と向かって言えないことはSNSでもしない」「スマホを使わない日や時間を作る」等、示唆に富んだものが並んでいます。

★スローガンではなく「ルール」であること★

なお、「スマホ18の約束」は一番最後の約束として「これらの約束を守れなかった時は、**あなたからスマホを没収する(母に返してもらう)**」と書いてあります。

「スローガン」であれば、その内容を達成できなくても「ペナルティ」はナシですが、「ルール」は違います。

ルール違反にはしっかり対応しないと、子どもに「このルールは守らなくてOKなんだ」という誤ったメッセージを与えてしまいます。



ルールの継続運用の為には、**保護者の管理負担の軽減も重要**です。例えば、使用状況は子どもに定期報告させる、未報告はルール違反とする…等。子どもに貸す形態であれば、このように**保護者が主導権**を持った上で、**子どもの自己管理を促す**ことにも繋がられます。